

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：民俗学ゼミ ILAS Seminar :Folklore Studies			担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 助教 菊地 暁		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2018・前期	受講定員 (1回生定員)	5(5)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	人文科学研究所本館1階セミナ ー室2(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	民俗(民間伝承)/民俗学/人生儀礼/信仰・祭礼・芸能/口頭伝承						
[授業の概要・目的]							
民俗とは、普通の人々が日々の生活のなかから創り上げ、承け伝えてきたコトバ、モノ、ワザといったものの総体である。そして民俗学とは、そのような民俗を、文献には決して書き残されることのなかった普通の人々の歴史を探る糸口として発見した学問である。本ゼミは、民俗学の目的と方法を、その創始者・柳田国男(1875-1962)の学問的生涯に即して説明した上で、人生儀礼、信仰・祭礼・芸能、口頭伝承などの個別分野についてとりあげる予定である。							
[到達目標]							
民俗学の基本的な考え方と初歩的な実践方法を理解する。							
[授業計画と内容]							
以下のトピックにつき、現地見学、ディスカッション、資料調査等を行う。							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用上の注意 2. 民俗学の方法 3. そだつ - 人生儀礼 - 4. めとる - 婚姻 - 5. とむらう - 葬送 - 6. 生活史作成の注意 1 7. いのる - 信仰 - 8. まつる - 年中行事 - 9. おどる - 民俗芸能 - 10. 生活史作成の注意 2 11. つたえる - 口頭伝承 1 - 12. なづける - 口頭伝承 2 - 13. ものがたる - 口頭伝承 3 - 14. まとめ 15. フィードバック <p>* 上記以外にセメスター中に実習旅行を実施する予定である(詳細は授業中に説明)。</p>							
[履修要件]							
講義「民俗学」(水4)を併せて履修のこと。諸般の事情により履修のできない場合は、補足のための課題を課す。							
ILASセミナー：民俗学ゼミ(2)へ続く							

ILASセミナー：民俗学ゼミ(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

ゼミへの参加の積極性およびプレゼンテーション（文章作成を含む）により評価する。詳細は授業中に説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

菊地暁 『柳田国男と民俗学の近代』（吉川弘文館）ISBN:BA53593061

菊地暁 [編] 『身体論のすすめ』（丸善）ISBN:4621075985

高取正男 『日本的思考の原型』（講談社）ISBN:4061158066

その他、授業中に適宜紹介する。

[授業外学習（予習・復習）等]

知的好奇心の旺盛な受講生を歓迎する。というのも、民俗学とは、私たち一人一人の生活体験を起点として、どこまでも具体的な事実の積み重ねから、日々の現実を成り立たせている歴史＝社会のありかたを考える学問であり、そのため、取り扱う対象は限りがないからである。

予習・復習等については授業中に随時指示する。

[その他（オフィスアワー等）]

必要な作業は随時指示する。

学生教育研究災害傷害保険へ加入すること（新生は原則的に必須となっています）。交通費（通常は市バス往復運賃程度）原則学生負担となります。